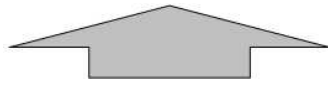


事務事業名 敬老の日事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：174

施策：	10	高齢者福祉の充実	財務コード	01030102-03-00
基本事業：	01	社会参加といきがづくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	地域活動等に参加している高齢者の割合 生きがいを持っている高齢者の割合		担当課	高齢者支援課
			担当係	高齢者福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和43年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
85歳以上の市民、地域コミュニティ組織			筑紫野市敬老祝金支給要綱に基づき、高齢者福祉の向上に寄与することを目的に、高齢者の長寿を祝し、85歳以上の高齢者に対し敬老祝金を支給するもの。 【対象者】 年齢85歳以上の者（当該年度の3月末日までに85歳に達する者を含む）で、8月31日現在において筑紫野市に居住し、住民基本台帳に記録されている者。 【祝金の額】 85歳以上90歳未満 3,000円 90歳以上95歳未満 5,000円 95歳以上100歳未満 10,000円 100歳以上 20,000円 【支給方法】 敬老の日前後にかけ、100歳未満の者には主に行政区を通じて支給、100歳以上の者には主管課職員が支給。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域コミュニティ組織と協働し、対象者の長寿を祝うことで、敬老の意識と高齢者福祉への関心の向上につながっている。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
			実績	実績	当初	要求	計画	計画	
85歳以上の高齢者数（支給人数）		人	3,841	3,938	4,300	4,400			4,300
5. コスト									
事業費		計	千円	17,541	17,955	20,864	19,635		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	17,541	17,955	20,864	19,635				
正職員人工数		人工	0.3	0.3	0.5				
正職員人件費		千円	2,399	2,427	4,033				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	19,940	20,382	24,897	19,635			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		【現状】支給金額は毎年増加している。 【原因】高齢者数の増加。 【その他】なし。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	なし	ほとんどの行政区が、敬老会や家庭訪問等を通じて祝金を支給しているため、対象者同士だけでなく、地域コミュニティ組織と対象者やその家族が交流する機会となっている。 一方、対象者の増加により行政区の負担感は大きい。100歳以上の支給についても期間内に支給できないこともあり苦情を受けることがある。祝金の対象者及びその基準日、金額、支給方法を検討する必要がある。					
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり						
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	あり						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
対象者・金額・支給方法等については、近隣市町村の動向をみながら、引き続き、コミュニティ推進課とも協議した上で、方針の検討を行う。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄					
老人福祉法第5条に基づく老人の日記念事業として、高齢者の長寿を祝い、多年にわたり社会の発展に寄与してきたことに感謝するために事業が開始された。				新100歳のうち、事前アンケートによって希望があり、かつ日時調整がついた者数名には市長もしくは県知事等の訪問を行う。					